2019(令和元)年度 学校自己点検・自己評価の実施結果、改善内容および課題
 <全国専門学校経営研究会 自己点検・自己評価表>

項目の重要度ランク Aランク:設置基準レベル(専修学校として必須) Bランク:全国専門学校経営研究会加盟校目標 Cランク:理想的な姿(努力目標)
評価基準 4:できている 3:ほぼ出来ている 2:あまりできていない 1:できていない

A:31項目 AV3.93
 B:47項目 AV3.86
 C:45項目 AV3.59

3.5未満に網掛け

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標		重要度 ランク	評価	実施状況	
教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が、明文化しているか。上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか。	1	【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等)	A	3.8	学生便覧P1参照
	2	【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等)	B	3.8	学生便覧P1参照 経営計画書P12、13記載(社外秘)
	3	【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP・パンフレット・募集要項等)	B	4	学生便覧P1参照 HP http://www.yic.ac.jp/ba/about/history/
	4	各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか。	C	3.9	学生便覧P2~4参照
評価の根拠 改善内容および課題	学校案内(パンフレット)、ホームページ、学生便覧に掲載している。 各教室に校訓を掲げ、学生やOC等の来校者にも周知している。				
2 教育の内容		重要度 ランク	評価	実施状況	
各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか	1	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	B	3.7	学生便覧2頁、9~11頁に掲載している
	2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)	B	3.8	校務分掌に従い複数の担当教員で作成している
	3	カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。	C	3.6	校務分掌に従い複数の内部職員で構成している
	4	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者をいれているか。またはその意見を取り入れているか。	C	3.5	教育課程編成委員会での外部関係者の意見をもとに教育課程の見直しを実施している
	5	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	B	3.9	全科目についてシラバスを作成している
	6	シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。	B	4	入学時、学科ごとにシラバス集を配布している
	7	上記において各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、とりまとめられているか。	B	4	毎年度見直し修正し、とりまとめている
	8	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	C	3.3	コマシラバスを作成していない科目もある
各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか	9	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	B	3.9	各科目担当の授業終了時に実施している
	10	結果に基づく教員面接を実施しているか。	B	3.5	職務目標の達成状況を教員面接を実施し確認している
	11	結果に基づく研修を実施しているか。	C	3.4	グループ内外の各種研修から適切なものを選び参加している
	12	結果に基づく授業観察を実施しているか。	C	3.4	授業経験の浅い教員の授業を優先して授業リフレクションを実施している
	13	結果に基づく教員のレポート報告書・改善計画書等が作成されているか。	C	3.3	レポート報告書は作成されていないが、職務目標内に改善計画が示されている
	14	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	C	3.4	評価結果を基に次年度の改善計画を立て、実施に努めている
	15	授業改善のための組織的取り組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等)	C	3.2	全教員が授業改善目標を掲げ取り組んでいる

各学科の教育目標、 育成人材像に向け業 界ニーズに対応した付 加的教育の取り組み がされているか	16	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。	B	3.7	各学科のカリキュラムに臨地実習が組み込まれている。
	17	キャリア教育などを行っているか。	C	3.7	キャリアコンサルタントによる授業、就職委員による就職実務指導を行っている
	18	ビジネス教育を行っているか。	C	3.5	ビジネス実務、コンピュータ演習などの授業を実施している
	19	コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みを行っているか。	C	3.6	コミュニケーション実習、グループワークなどの授業を実施している
	20	リメディアル(導入前教育・補習)教育をやっているか。	C	3.8	看護:3月に入学前学習を実施している
	21	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。	C	3.8	リハビリ校教員による授業 リハビリ校へ看護の講師派遣
	22	企業・地域・行政との連携を図っているか。	C	3.7	実習巡回、卒業生就職先訪問 地域の健康教育(介護予防)
各学科の教育目標、 育成人材像に向け教 員の資質維持や向上 に向けた取り組みがさ れているか	23	教職員の研修計画が作成されているか。	C	3.8	年間の研修計画が作成されている
	24	専門性や指導力等の把握や評価・維持・向上のための内部研修・研究を実施しているか。	C	3.5	グループ内での研修や勉強会を実施している
	25	専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	B	3.6	外部研修へ派遣している
	26	専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。	C	3.3	グループの規程に基づき、一定の研修等には時間的・経済的支援がある
	27	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング・報告書・教務日誌等)	B	3.4	非常勤講師を含めて、全教員が授業記録を作成している
評価の根拠 改善内容および課題	カリキュラム編成は、学科内の協議、教育課程編成委員会を経て、学内決済を得ている。シラバスは、国家試験出題基準、授業評価を基に見直しを行い、授業内容の充実を図っている。教員スキルアップのための外部研修等の機会が年に数回ある。				
3 教育の実施体制			重要度 ランク	評価	実施状況
各学科の教育目標、 育成人材像に向けて 教育環境が整備・活用 されているか	1	組織機能図があるか。	A	3.7	組織図、校務分掌表を作成している
	2	学校の年間スケジュールはあるか。	A	4	作成している
	3	図書室・図書コーナー等があるか。	C	4	学内に設置している
	4	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか。	C	3.8	蔵書数が少ない
	5	就職支援を行う指定された場所があるか。	B	4	キャリアサポート室を設置している
	6	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	3.9	学生便覧13頁に掲載している 敷地内全面禁煙を実施している
	7	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	3.9	節電・節水・ゴミ分別の掲示はあるが、規定として文書化されていない
	8	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。	B	4	教室内に清掃要領を掲示しているが、規定として文書化されていない
	9	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか。	B	4	年間スケジュールの下、定期的実施されている
	10	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	B	3.9	実習に際し文書による事前指導をしているが内容の充実を図る必要がある
	11	学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。	A	4	全員学生災害保険、インターンシップ保険に加入している
	12	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	A	4	定期的に点検している
	13	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	A	3.9	定期的実施されているが、管理方法は検討の余地がある
評価の根拠 改善内容および課題	環境美化活動は計画的に実施・チェックされている。 学生の学習環境を整えるために、学生、教職員が協力して学内の整理整頓、防災・防犯設備点検等に努めている。				

4 教育目標の達成度と教育効果			重要度 ランク	評価	実施状況
各学科の教育目標、 育成人材像に向けて その達成への取り組み と評価がされているか	1	学生の就職に関する目標を設定したか。	A	3.9	年度当初に目標として設定している
	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	B	3.7	教職員会議資料により共有されている
	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	B	4	記録している
	4	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	C	3.8	教職員会議および就職委員会を開催し就職結果の報告等行っている
	5	対外部に向けた就職実績を公表しているか。(パンフレット・HP等)	B	3.9	学校案内(パンフレット)10～11頁、HPにて公表している
	6	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	A	4	年度当初に目標として設定している
	7	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	3.9	教職員会議資料により共有されている
	8	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか。	C	3.9	教職員会議で報告しているが、検証は不十分である
	9	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。	B	4	事業報告書にて検定試験結果を公表している
	10	退学率の目標を設定しているか。	A	4	年度当初に目標として設定している
	11	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	4	教職員手帳(経営計画書)に掲載している
	12	退学結果に関して検証・報告がされたか。	C	3.8	退学に至る経緯を文書化し、教職員会議で報告している
	13	退学者数を公表しているか。	C	4	情報公開のホームページにて退学者数を公開している
	14	卒業生(同窓生)の進路・就職先等の記録がなされているか。	C	3.9	記録している
	15	卒業生(同窓生)の進路・就職先等を公表しているか。	C	3.9	学校案内(パンフレット)10～11頁にて公表している
	16	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。	C	3.6	卒業生全員の就業状況を把握できていない
評価の根拠 改善内容および課題	資格は看護師・介護福祉士国家試験100%合格を目標として、各学科・各学年で国家試験対策を実施している。検定については、ビジネス系の授業の中で受験している。卒業生の就業状況は、4か月後にホームカミングデーを開催、事前に就職先の上司に連絡し就業状況を確認し、アンケート調査を行っている。卒業生(同窓生)全員を対象とした追跡調査は、同窓会案内等を通じて行われているが、十分な情報が得られていない。				
5 学生支援			重要度 ランク	評価	実施状況
各学科の教育目標、 育成人材像に向けて 入学前から卒業後まで 学生支援が整備され 組織的に行われている か(入学前)	1	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	A	3.8	学校案内(パンフレット)2頁の教育理念・教育目標の中で明示している
	2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	A	4	学校案内(パンフレット)12～15頁にて明示している
	3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	A	4	募集要項3頁にて明示している
	4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	A	3.9	募集要項2頁にて明示している
	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができていますか。	A	3.9	入試事務局を設置し対応できる体制ができています
	6	学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。	A	3.9	学校説明会・オープンキャンパスにて情報提供している
	7	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	C	3.9	2～3月に入学前学習を実施している
	8	入学者に対し学習・学生生活のためのオリエンテーションが行われているか。	B	3.9	入学前および入学時オリエンテーションを実施している

各学科の教育目標、 育成人材像に向けて 入学前から卒業後まで 学生支援が整備され 組織的に行われている か(在学時)	9	担任による面談が定期的に行われているか。	B	4	段階に応じて定期的実施している (概ね3か月ごと)
	10	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・ キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。	C	4	キャリアサポーター4名、ジョブカード キャリアコンサルタント1名が在籍してい
	11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて 相談できる担当者がいるか。	C	3.8	月1回の学生相談日を設け臨床心理士 やカウンセラーが担当している
	12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周 知されているか。	C	3.7	総合支援部を窓口として学生便覧にも 連絡先を掲載し周知されている
	13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制がある か。	C	3.8	上記のとおり、体制が整っている
	14	学生の面談・相談記録があるか。	B	3.9	所定の記録用紙に記載しているが、様 式の見直しが必要である
	15	定期的に健康診断を行っているか。	A	4	毎年4～5月に実施している
	16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	A	4	日本学生支援機構奨学金のほか、グ ループの学費サポート制度がある
	17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	B	3.8	希望者対象に保護者面談を5月・12月 に実施することとした
各学科の教育目標、 育成人材像に向けて 入学前から卒業後まで 学生支援が整備され 組織的に行われている か(卒業後)	18	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	C	4	同窓会がある
	19	卒業生への職業紹介をしているか。	B	3.8	卒業後10年間就職サポート制度を設 けている
	20	卒業生への講習・研修を行っているか。	C	3.2	卒業生が参加できる講座がある
	21	卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。	C	3.7	定期的訪問は行っていない
	22	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP・学校便り 等)	C	3.5	HP、同窓会を通じて卒業生に知らせて いる
上記以外を通じての学	23	学校情報を保護者に知らせているか。(HP・学校便り 等)	C	3.7	保護者宛に月1回の学校便りを送付し ている
	24	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り・D VD等)	C	3.8	HPを通じて外部に知らせている 高校に定期的に情報提供している
	25	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り・DVD 等)	C	3.5	HPを通じて外部に知らせている
評価の根拠 改善内容および課題	看護学科は4月から1学年を3名の教員による学年担当制とし、学生個々の支援体制の強化を図った。 保護者会は年1回で定期的な面談は行われておらず、今後の課題である。 学校情報の企業・官公庁等への提供は、HPに加え学生が就職した企業訪問を行いニーズ把握をしている。				
6 社会的活動			重要度 ランク	評価	実施状況
意図的・計画的・組織 的に社会活動への取 り組みが推進されてい るか	1	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動・地域貢献・ ボランティア活動等)を実施しているか。	C	3.8	社会的活動は行っているが目標・計画 に基づくものではない
	2	地域社会の行政・商工業・教育機関・文化団体等へ加 盟をしているか。	B	3.8	全専研、全専各連に加盟している
	3	上記において定期的な会合に参加しているか。	B	3.6	総会・例会等に参加している
	4	教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を 地域社会に提供しているか。	B	3.8	県委託の職業訓練実施高校連携講座 を年10校以上で実施
	5	地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	C	3.6	高校・大学・社会人向けに無料公開講 座を実施している
評価の根拠 改善内容および課題	目標・計画に基づいた社会的活動の企画・運営に努めているが、今後更に機会を増やしていく。 学生が自主的に参加するボランティア活動を単位認定する教育課程にはなっていない。				

7 管理運営			重要度 ランク	評価	実施状況
学校の管理・運営体制が確立していること	1	理事会が定期的に行われているか	A	4	年2回定期開催されている
	2	評議員会が定期的に行われているか	A	4	年2回定期開催されている
	3	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に行われているか	B	3.9	月1回教職員会議を実施している
	4	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか	A	3.9	業務分掌表を作成し、職員の役割分担を明示している
	5	決裁規程が文書化されているか	B	3.7	文書化されている
	6	人事規程が文書化されているか。		3.8	
	7	人事考課制度は文書化されているか。		3.8	
	8	昇進・昇格制度は文書化されているか。		3.7	
	9	賃金制度は文書化されているか。		3.7	
	10	採用制度は文書化されているか。		3.7	
	11	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか	A	3.9	文書化されているが内容の見直しは必要である
	12	防災・防犯対策に対して組織化されているか	A	3.9	文書化されているが内容の見直しは必要である
	13	定期的に行う防災訓練を実施しているか	A	4	実施している
	14	個人情報保護規程が文書化されているか	A	3.9	グループの「プライバシーポリシー」にて明文化している
	15	ハラスメントに関する規定が文書化されているか	B	3.9	文書化されている。セクシャルハラスメント、パワーハラスメント
	16	公印管理簿があるか	B	3.9	ある
	17	出退勤管理簿があるか	A	4	ある
	18	受信・発信簿があるか	A	3.9	ある
	19	SD(スタッフディベロップメント)に関する計画・実施されているか	C	3.5	研修計画はスタッフの課題やキャリアアップを視野に協議し立案している
	20	教職員の健康診断がされているか	A	4	毎年4月、(胃健診は1月)に実施している
評価の根拠 改善内容および課題	グループの統一規程、標準規程の整備により、各種規程の文書化が整備されつつある。今年度は「入学選考試験実施規定」、「パワーハラスメントの防止に関する規程」を制定した。各分掌業務については、毎年見直し修正を行う。				

8 財務			重要度 ランク	評価	実施状況
財務体質が健全であり 財務運営が適切に行 われているか	1	年度予算・中期計画が策定されているか	A	3.9	計画している
	2	予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に 確認しているか	B	3.9	毎月1回アミーバ会議、経営会議にて 執行状況が確認されている
	3	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されてい るか	B	3.8	毎月会計士による監査がある 毎年度監事による監査報告をしている
	4	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明 確化されているか	B	3.9	報告されている
	5	私立学校法における財務情報公開の体制整備はでき ているか	A	3.8	できている
	6	固定資産管理規程が文書化されているか	B	3.8	文書化されている
	7	図書管理規程(養成施設等)が文書化されているか	C	3.9	文書化されている
	8	物品(消耗品・貯蔵品)等の在庫管理をしているか	B	3.9	在庫が少なくなれば追加発注している が、在庫管理方法の見直しが必要であ
	9	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	3.8	破損・老朽化に応じて保守しているが、 定期的な管理は不十分である
	10	物品購入等における複数業者からの確認がされてい るか	B	3.9	一定額を超える物品購入においては 相見積を基本としている
評価の根拠 改善内容および課題	予算計画・執行、会計の面では公正に処理されている。物品の在庫管理は責任者を決めているが、全体把握はでき ていない。備品管理をルール化する				
9 改革・改善			重要度 ランク	評価	実施状況
各学科の教育目標、 育成人材像に向けて 自己点検・評価活動の 実施体制が確立して 改革・改善のためのシ ステム構築がされてい るか	1	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが 文書化されているか。	B	3.8	文書化されている
	2	自己点検・評価の組織があるか。	B	3.9	自己評価委員会を設置している
	3	評価・改善を行うための組織があるか。	C	3.9	自己評価委員会で評価し学校関係者 評価委員会で改善意見を受けている
	4	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設 けたか。	A	3.9	教職員会議を開催し伝えている
	5	自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設 けたか。	B	3.9	結果を運営会議、教職員会議で報告し 次年度の課題対策を考えている
	6	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画 に基づいた結果の検証がされたか。	B	3.9	結果考察から課題を明確にし、対策を 考えている
	7	自己点検・評価報告書があるか。	B	4	報告書を作成している
	8	自己点検・評価報告書が公表されているか。	C	3.8	HPにて公表している
評価の根拠 改善内容および課題	自己点検・自己評価結果は運営委員会、学校関係者評価委員会の承認を経て職員会で報告、HP上で公表してい る 結果を踏まえ、次年度の課題を教職員全員が考え、重点項目を明確にして組織として取り組む				